

学校だより

済美



南砺市立城端小学校
令和2年7月22日

『ありがとう』が持つ力

校長 曲師 政隆

学校再開から1か月半が経ちました。子供たちは新しい学級担任やクラスメイトに慣れ、徐々に教室に活気が出てきたように思います。それでも新型コロナウイルス感染症予防は欠かせず、教員たちも細心の注意を払っているところです。そして、毎日3回、長休み後・清掃後・下校後に玄関の取手や階段の手すり等の消毒をして回るのが私たち管理職の日課となっています。

そんな私たちを見て、「ありがとうございます」と言ってくれる子供が何人もいます。とてもうれしいです。もしかしたら学級担任が「みんながコロナウイルスに感染しないように校長先生たちが消毒してくれています。出会ったらお礼を言いなさい」と指導をしているのかもしれない。例え、そうであったにしても私はうれしいです。『ありがとう』には、言われた人を明るい気持ちにさせる不思議な力があります。

本校では、6年生の子供たちが毎朝あいさつ運動をしてくれています。校門の前に立って子供たちを出迎えていると、年度初めに比べると、随分、あいさつをする子供が増え、あいさつの声も大きくなってきていることが分かります。「ありがとう」に限らず、「おはよう」「こんにちは」「ごめんなさい」など、自分の思いを言葉にして発せられる子供たちになってほしいと切に願います。

< 8月行事予定 >

※現時点の予定は変更になることもあります。

- 8月3日(月) 集団登校
- 7日(金) 1学期終業式
- 13日(木) ~ 17日(月) 学校閉庁
- 20日(木) 2学期始業式、
保護者会(南山田、北野地区)
- 21日(金) 保護者会(城端、大鋸屋、
蓑谷地区)

< 2学期の主な行事予定 >

※現時点の予定は変更になることもあります。

- 10月 3日(土) 運動会
※予備日①10月4日(日)
※予備日②10月6日(火)
- 5日(月) 振替休業日
- 11月13日(金) 学習参観・講演会
- 30日(月) 高学年弁当の日①
- 12月14日(月) 高学年弁当の日②
- 22日(火) 保護者会(南山田、北野地区)
- 23日(水) 保護者会(城端、大鋸屋、
蓑谷地区)
- 24日(木) 終業式・給食終了
- 25日(金) 冬季休業開始

~ぼかぼかコラム 4年生の取組より~

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の一環で、子供たちもいろいろと制約のある中で活動が続いています。

その中の一つに給食準備があります。できるだけ準備に携わる人数を減らして準備しています。

そのような中、当番を進んで引き受けてくれたり、きちんと役割分担を話し合い、取組んだりしている子供たちの姿を見ることができました。また、当番の給食を「私がやります。」と何人もの子供たちが手を挙げてくれました。

今、子供たちもストレスが溜まっているところですが、助け合って笑顔で活動していってほしいと思っています。

(4年生担任 石黒 久尚)



6/19 (金) 学習参観



7月 アルミ缶回収

6年生 あいさつ運動



道徳の学習から

城端小学校では、毎年7月上旬に「いのちの授業」を計画し、実施しています。今年度は、全学級で「生命の尊さ」を考える道徳科の授業を行いました。授業を通して、命のすばらしさを感じたり、支え合ったりしていることに気づき、大切にしようという心を育むことをねらいとしています。

世の中では、医学が進歩したとはいえ、感染症や不慮の事故、病気、戦争等で命を落とされる方や悲しい思いをされる身近な方がおられます。その一方で、生死の境をさまよう経験をされた方や克服された方の実話は、私達に「生きる勇気」を与えてくれます。

私は小さな頃、「電池が切れるまで」という本に出会いました。闘病しながら学習する子供たちの様子をまとめた院内学級の話です。この本のタイトルは、闘病を続ける子供が院内学級で作った詩のタイトルです。その詩を作った子供は、数か月後に病気で亡くなってしまいます。しかし、一生懸命生きようという強い意志が感じられる詩に共感・感動される方が多いと聞きます。

道徳科には、「生命の尊さ」を扱う題材が年間でいくつかあり、今後も「命の大切さ」について考える授業を行います。その際には、自分や全ての命を大切にしようという心を一層育むために、授業の準備をしていきたいと思えます。今、テレビでは、奇跡の生還を果たした事例を取り上げ、一部に笑いの要素も取り入れながら分かりやすく紹介している番組もあります。学校に限らず、家庭や地域等で「命」というものについて考える機会をもたれてみてはどうでしょうか。

(道徳教育推進・石崎 宏樹)

